

平成27年度予算が決定

平成27年度各会計当初予算は、3月10日から20日まで開催された3月町議会定例会で可決され、成立しました。
 一般会計当初予算は、56億9,000万円という、前年度比8億2,000万円、12.6%減の予算となりました。今月号では一般会計を中心に予算の中身ををご紹介します。

平成27年度の主な事業

災害復旧事業

岡ノ内池2整備事業 2,530万円
 公共土木施設災害復旧事業 900万円

被災者支援事業

災害援護資金貸付事業 500万円

防災関係事業

消防団OB災害支援隊支援事業 165万円
 防災情報通信設備改修事業 4,200万円
 避難所案内看板設置事業 400万円

原子力災害対策事業

一般住宅等除染対策事業 3億2,100万円
 土木施設等除染対策事業 2億370万円

進化する鏡石実行プロジェクト

「駅に降りてみたくなる事業」
 駅東口整備事業 550万円
 田んぼアート事業 180万円
 「通りを歩いてみたくなる事業」
 グリーンロード整備事業 925万円
 「住んでみたくなる事業」
 住宅用太陽光発電導入促進振興補助事業 270万円

第5次総合計画に基づく行政分野別施策

I 町民参加と行財政運営分野
 社会保障・税番号制導入事業 4,990万円
 町税等納税環境整備事業 185万円
 新地方公会計制度整備事業 646万円

II 教育・スポーツ・健康づくり・文化振興分野
 中学校耐震補強・大規模改修事業 3億7,500万円
 周産期、小児地域医療支援事業 330万円

III 福祉・安心安全・コミュニティ形成分野
 認定保育園支援事業 1億7,999万円
 ハッピーイートプログラム事業 327万円
 町社会福祉協議会組織強化事業 140万円

IV 産業振興分野
 県営ため池等整備事業（梨池下地区） 2,334万円
 魅力あるまちづくり事業 264万円
 農業生産対策交付金事業 495万円

V 都市整備・都市開発分野
 鏡石駅東第1土地区画整理事業 2億2,300万円
 第5次上水道拡張事業 4億8,125万円
 街区公園整備事業 245万円

予算編成の方針

徹底した事務事業の見直しと経常経費の圧縮を図りながら、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画のもとに、新たな感覚で施策の評価を行い、総合計画の基本理念「やさしさとふれあい」、「復興と進化」を基軸に各種事業の重点的かつ効果的な配分に努めた予算編成としたところであります。

主要事業につきましては、「災害復旧事業」、「被災者支援事業」、「防災関係事業」、「原子力災害対策事業」、「進化する鏡石実行プロジェクト」等とした5分野と、第5次総合計画における行政分野別施策として5分野の事業に取り組むこととしております。



議定会例会で予算編成の方針を述べる遠藤町長

用語の説明

「予算の仕組み」

町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分類することができます。各会計には、町に入るお金（歳入）、町から出るお金（歳出）があり、収支の均衡が義務づけられていますので、赤字予算・決算は許されません。一般会計は、町政運営の財政を基本的に経理する会計で、福祉や教育、建設など事業の大部分をまかなう会計です。

「歳入」 歳入とは、地方公共団体の一会計年度における一切の収入のことです。

「町税」 皆さんや法人が町に納めるお金

「繰入金」 各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金

「地方交付税」 自治体の財政力に応じて国から交付されるお金

「借入金」 国や銀行などからの借入金

「歳出」 歳出とは、地方公共団体の一会計年度における一切の支出のことです。

「性質別歳出」 事業を行うために借りたお金（町債）の元金・

利息や一時借入金の利息を支払うお金

「普通建設費」 道路、学校などの建設・整備に使われるお金

「繰入金」 各種基金や特別会計間などへ繰り出されるお金

「維持補修費」 町が管理する公共施設などの維持に使われるお金

「扶助費」 社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して使われるお金

「目的別歳出」

「議会費」：議会運営に使われるお金

「総務費」：行政全般の事務などに使われるお金

「民生費」：障がい者、高齢者に対する福祉や子育て支援などに使われるお金

「衛生費」：環境保全、疾病予防、健康増進などに使われるお金

「農林水産業費」：農林業振興のための支援や生産基盤整備等に使われるお金

「商工費」：商工業や観光の振興のために使われるお金

「土木費」：道路や河川、施設建設など社会資本整備のために使われるお金

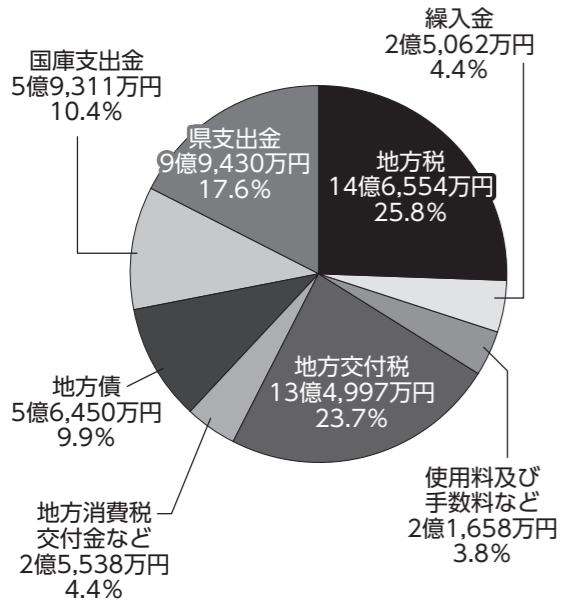
「教育費」：教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などに使われるお金

歳入

歳入では、歳入全体の約25%を占める町税については、個人町民税で、1.6%増の4億2,274万円と見込んでいます。固定資産税は、震災による交付税措置に伴う減免により、3.4%減の8億2,999万円となりました。町税総額では、前年比0.7%減の14億6,554万円を計上しました。

平成27年度鏡石町各会計当初予算総括表

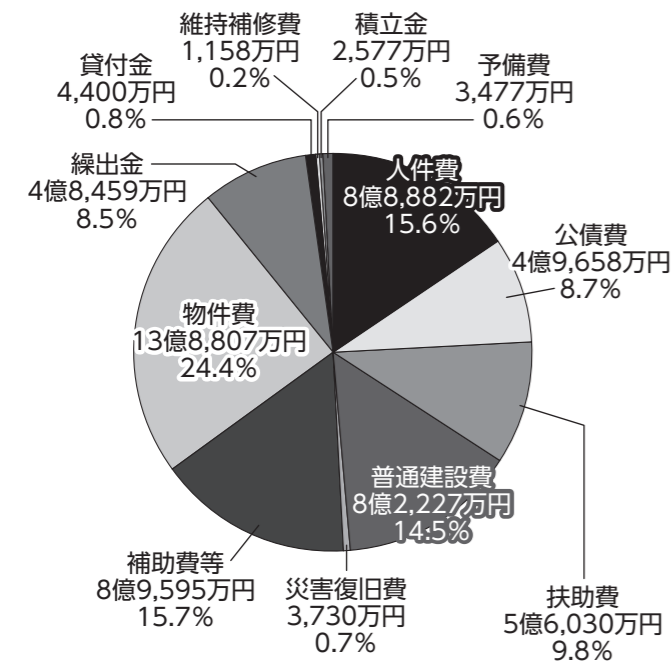
会計区分	本年度	前年度	比較	
一般会計	56億9,000万円	65億1,000万円	△8億2,000万円	
国民健康保険特別会計	16億7,330万円	14億3,086万円	2億4,244万円	
後期高齢者医療特別会計	9,676万円	9,347万円	329万円	
介護保険特別会計	7億6,363万円	7億1,946万円	4,417万円	
土地取得事業特別会計	2,003万円	3,901万円	△1,898万円	
工業団地事業特別会計	4,700万円	9,207万円	△4,507万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	2億2,300万円	2億370万円	1,930万円	
育英資金貸付費特別会計	1,113万円	1,075万円	38万円	
公共下水道事業特別会計	5億1,700万円	4億9,580万円	590万円	
農業集落排水事業特別会計	6,760万円	6,600万円	160万円	
小計	90億9,415万円	96億6,112万円	△5億6,697万円	
上水道事業会計	収益的	2億3,771万円	2億4,568万円	△797万円
	資本的	6億342万円	3億4,264万円	2億6,078万円
計	8億4,113万円	5億8,832万円	2億5,281万円	
合計	99億3,529万円	102億4,945万円	△3億1,416万円	



歳出

歳出においては、徹底した事務事業の見直しと最小の経費で最大の効果を上げていく考えのもと、町政運営の基本方針を示す第5次総合計画のもとに、新たな感覚で施策の評価を行い、復興への取り組みを最優先に予算を編成しました。

歳出（性質別）



歳出（目的別）

区分	本年度	前年度	比較
1 議会費	9,040万円	8,715万円	325万円
2 総務費	6億3,323万円	7億1,807万円	△8,484万円
3 民生費	13億7,086万円	13億5,397万円	1,689万円
4 衛生費	8億8,278万円	12億3,076万円	△3億4,797万円
5 労働費	529万円	544万円	△15万円
6 農林水産業費	3億8,506万円	3億8,312万円	194万円
7 商工費	8,891万円	9,957万円	△1,066万円
8 土木費	4億8,609万円	8億7,199万円	△3億8,590万円
9 消防費	2億8,854万円	2億6,785万円	2,069万円
10 教育費	8億9,251万円	6億4,553万円	2億4,698万円
11 災害復旧費	3,730万円	1億9,122万円	△1億5,392万円
12 公債費	4億9,426万円	6億2,586万円	△1億3,159万円
14 予備費	3,477万円	2,947万円	530万円
合計	56億9,000万円	65億1,000万円	△8,200万円